

## 片頭痛の最新治療薬（予防薬）

### ⑥ 抗CGRP

- ① CGRPとは、Calcitonin Gene-related Peptide  
カルシトニン遺伝子関連ペプチドのことである。
  
- ② 三叉神経節から分泌されたCGRPは脳の血管、特に  
脳の外側を覆う硬膜の血管の平滑筋細胞にあるCGRP  
受容体に作用して、血管拡張＋炎症を起こし、片頭痛  
が発症する。
  
- ③ 片頭痛発作の予防を目的とした注射薬が開発され、  
抗CGRP抗体（エムガルティ®、アジヨビ®）  
抗CGRP受容体抗体（アイモビーグ®）  
1か月に1回の皮下注で、片頭痛発作の日数減少効果  
が明らかになっている。（2021年発売）
  
- ④ 効果（6か月平均）  
効果は1か月目から出るが、6か月平均で評価すると  
3種類（エムガルティ、アジヨビ、アイモビーグ）  
とも有効率はほぼ同じで、  
50%レスポナー                    6割  
75%レスポナー                    3～4割  
100%レスポナー                   1～2割となっている。

片頭痛の頻度は半分程度に減り、頭痛の強さもかなり減り  
しかも大した副作用も無いということで好評ではあるが、  
薬価が高いので気楽に使えないという問題点がある。